

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスキートン別荘クラス	公表日			2026 年 2 月 30 日
環境・ 体制 整備		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		十分なスペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		有給や突然の休み等に備え、後一人職員の配置を希望する。	リクルート活動を続け、職員が増え十分な配置数になったと思う。サービス提供時間にもラ―人増れば良いと思う。
	3	生活空間は、こどもにわくわくする機微化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性にむき、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		児童たちのスクジュールを機微化し、見て理解しやすいようにしている。	授業があるのでフラットにならないかが心配に伝えていきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		広さが十分にあるので、こどもたちの活動に合わせた空間になっていると思う。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		何カ所があり、児童に合わせた配慮が出来ていると思う。	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		全員で話し合いをし、全員の意見を取り入れて進めている。	今後も職員全員の意見を反映しながら進めていきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		職員全員に周知し、自分たちの意見を振り返っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		朝会や話し合いの機会を設け意見を反映しようとしている。	今後も職員全員の意見を反映しながら進めていきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		評価結果を共有し、業務改善に繋げている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4		内部研修、外部研修ともに積極的に参加をしている。	今後も研修等に積極的に参加していきたいと思う。
	11	適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	4		毎年、ホームページで公表している。	保護者様の意見や要望を聞き出せるようにしていきたい。
適切 な 支 援 の 提 供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		保護者様や児童のニーズを聞き、支援計画に反映している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		知った情報は全員で共有し、支援を統一し、支援をしている。最善の利益を考慮している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間にも共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		児童発達支援管理責任者を中心に計画を共有し、計画に沿った支援をしている。計画から逸れそうな時には、声掛けをしなから支援を行っている。	
	15	こどもの通行動向の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	事柄の情報を通観視察を基に、日々の様子から行動の状況を話し合い確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		移行支援等を意識し入れ、支援を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		朝会で全員で立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		カレンダー等を活用し固定化しないように工夫をしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	1	3	個別と集団活動を両方の組み合わせを行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		役割分担し、役割も固定化しないようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、良かった点等を共有しているか。	4		前日に振り返りを行い、その日の支援に反映している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		保護者様向けのアプリへの記載や個人個人で記録を残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しが必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1	3	定期的にもモニタリングを行い見直しを行っている。また、必要に応じて期間は待たず関係者会議を開いている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4		出来る限り複数組み合わせている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		物事を決める時には、いくつかの選択肢を与え自己決定をする力を育てている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	3	児童発達支援管理責任者が、他の職員の意見も聞き会議に参加している。	今後も職員の意見も聞いた上で会議に参加したいと思う。
	27	地域の保健、医療（主治医や臨床医等関係等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	3	そのような体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		下校時刻が必ず遅くなってしまふ時には早急に学校へ連絡を入れトラブル回避をしている。	職員も抱えたの下校時刻に合うように行ける予定となっている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3	相談支援専門員さんを通じて連絡を取り、情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	3	障害1年のも、まだ卒業生がいないが、今後そのような機会がある際には情報を提供していきたい。	
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3	研修等には積極的に参加し、参加した者が他の職員に研修報告をしている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		地方偏りの時には地域のこどもたちとの交流がある。	今のところは、地方偏りのみなので今後少しづつ増やしたいと思う。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3	基本的に管理者が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4		状況説明に保護者様と会議をし、事業所に戻り他の職員とも情報共有をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	現在は行っていないが、今後は前向きに検討していきたい。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1	3	契約時には時間を取り、丁寧な説明を心がけている。	保護者様が理解しやすいような言葉を使用し、丁寧に説明を行ってきたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1	3	モニタリングだけでなく、日頃より保護者様の意向やこどもの最善の利益を考えながら支援に当たっている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	1	3	そのようにしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		保護者様の気持ちを尊重し相談に応じるように心がけている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		現在、父母の会等はないが、1年1回程度での親子で活動に参加する機会を考えている。その他、保護者同士の交流がしやすいような配慮をしていきたい。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		上司に相談し迅速に対応している。	
	42	定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		インスタやHPを通し、日頃の活動の様子等を発信している。	今後は他の媒体も考えながら発信していきたい。
	43	個人情報取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報には貸付きの保管庫にて保管し、携帯にはロックをかけている。	今後もしっかりと取り扱いに気を付けていきたいと思う。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		言葉に気を付け配慮しながら行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を行っているか。	4		今まで地域住民を招待する事はなかったが、今後、そのような機会がある際には事業運営を回りたい。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		それぞれマニュアルを策定し、年に数回訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		BCPを策定し年に数回訓練を実施している。	
非常 時 態 度 の 対 応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		前案がある場合には保護者様から（差支えない場合）薬をコピー保管している。	
	49	食中毒アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	4		対応を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な調査を継続する等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画を作成し研修や訓練をかならず行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づき対応内容について、家族等へ周知しているか。	4		年一度文書で周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	4		ヒヤリハットを1週間以内一度必ず見出し、職員間で共有し、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		会社で委員会を立ち上げ研修会等の対応をしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	1	3	身体拘束は行っていない。	